

(新) 硝酸性窒素対策等地下水質管理的確化調査 11百万円 (0百万円)

水・大気環境局
地下水・地盤環境室

1. 事業の概要（背景及び目的）

地下水の水質汚濁に係る環境基準（以下「環境基準」という。）については、依然として硝酸性窒素等について環境基準の超過率が高い状況にあり、基準達成のため総合的な地下水管理対策を講ずる必要がある。対策においては、地方自治体における財政状況の逼迫や、団塊世代の大量退職等といった状況を考慮し、業務を効率的に行う必要性が一層高まっている。

本調査は、このような現状をふまえ、硝酸性窒素等の環境基準を達成していない項目について、環境基準を効率的・効果的に達成するため、地域の地下水の汚染状況や利用状況等を勘案し各々のリスクに応じた総合的な対策を講ずるための方策について引き続き検討を行うものである。

2. 事業計画

調査項目	H20	H21	H22	H23	H24
効率的基準達成方策の検討					

3. 施策の効果

地下水質管理施策の効率的・効果的な実施が推進され、人の健康被害の防止や地下水質環境の保全が図られる。

4. 備考

調査費 11,253千円

（内訳）環境基準の効率的達成方策の検討 11,253千円